

資料編

- 学習指導案
- 振り返りシート
- 教材の作成の仕方、活用した教材

外国語科学習指導案

令和〇年〇月〇日（〇曜日）第〇校時 6年〇組教室 指導者 小林 拓美

1 単元名 NEW HORIZON Elementary English Course Unit5 「We all live on the Earth.」

2 考察

(1) 教材観

本単元は、地球上の生き物の生活環境について、理科や社会で学習した食物連鎖、SDGsなどに関連させることができるため、単元の課題である生き物の生活環境について捉え考えやすい教材である。また、自分の考えや気持ちを表現したり、友達と WhereやWhatを使った英語表現のやり取りを繰り返したりすることでコミュニケーションの基礎的な技能を身に付けることができる教材となっている。

「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説外国語活動・外国語編」の指導計画の作成と内容の取扱い(2)「オ 児童が身に付けるべき資質・能力や児童の実態、教材の内容などに応じて、視聴覚教材やコンピュータ、情報通信ネットワーク、教育機器などを有効活用し、児童の興味・関心をより高め、指導の効率化や言語活動の更なる充実を図るようにすること」に基づき、本単元は友達とのやり取りや学習を振り返る際、ICTの活用に適していると考え、本教材を設定した。

1人1台端末を活用することで、今まで以上に児童の能力に合わせた個別最適な学びを提供することができる。また、指導者は児童の様子を見取り、端末を通して即時的にフィードバックするなどの形成的評価をしたり、端末に納めた児童の学習成果を基に総括的評価をしたりすることができ、指導改善につなげることができる。児童も自分の学習を振り返り、端末にデータを蓄積しておくことで自分の変容をいつでも確認することができる。

以上のことから、1人1台端末を活用し、本単元を学習することで、WhereやWhatを使った英語表現を身に付けるとともに、地球上の生き物の生活環境について、自分の考えや気持ちを入れた表現の質を自ら高めようとする児童を育成できると考える。

(2) 児童の実態及び指導方針（男子〇名 女子〇名 計〇名）

児童は、とても明るく、何事にも意欲的に取り組むことができる。友達とのやり取りについても積極的に行うことができる。分からないときや言い間違えてしまったとき等、友達同士教え合う場面がよく見受けられる。その反面、英語表現を間違えることを恥ずかしがる児童や、何を言っているのかよく分からないと苦手意識が強い児童もいる。また、授業の振り返りを行っても内容面や言語面での自分自身の学びを自覚し、次の活動に活かしている児童は少ない。

本単元においては、1人1台端末に複数の単語の発音モデルを納め、恥ずかしがる児童や苦手意識の強い児童が自信をもって発信できるよう、個別に学習を進められるようにする。友達とのやり取りを行う場面でも、端末内の音声を自由に活用し、発音や表現方法を個別に学習することができるようにする。そして、録画機能を活用し、友達と比較したり教えてもらったり、新たな表現を取り入れたりしながら、児童自ら表現の質を高められるようにする。また、評価や振り返りの場面でも、教師からの個に応じた指導や友達同士の相互評価を基に、自己調整を行いながら、児童自ら表現の質を高められるようにする。以上のようにすることで、試行錯誤しながら表現の質を自ら高めようとする児童を育成することにつながると考える。

3 研究との関わり

新学習指導要領の全面実施に伴い、学習評価について「教師が指導の改善を図るとともに、児童生徒自身が自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるようにする」ことが重要であるとされている。

そこで、本単元では、これまで行われてきた評価や振り返りを1人1台端末を活用して行い、指導者

は指導改善の面で仕事の効率化を図り、より充実した評価や評価を生かした指導を、学習者は評価や振り返りを次なる学習に生かし、ねらいの達成に向けて試行錯誤しながら表現の質を自ら高める姿を目指す授業を展開する。具体的には、児童が個別学習に活用できるよう指導者があらかじめ資料や材料を端末内に納めたり、児童が表現の質や学習成果物の質の向上を図れるよう指導者がねらいの達成により近いものを全体共有したり、児童が試行錯誤しながら表現の質を自ら高められるよう指導者が端末を通じて授業中に即時的にフィードバックをしたりする。こうした端末を活用した手立てを継続的に行うことにより、表現の質を自ら高めようとする児童を育成することができると考える。

4 単元の目標

地球上の生き物の生活環境について考えるために、好きな動物を選び、その生き物の暮らしについて自分の考えや気持ちを入れながら英語で話すことができる。

5 指導と評価の計画（全8時間予定）

評価 規 準	知識・技能	[知識] Where do ~live?, ~live in ..., What do ~eat?, ~eat... 及びその関連語句などについて理解している。 [技能] 地球上の生き物について、上記の表現などを用いて自分の考えや気持ちを入れながら、英語で話す技能を身に付けている。						
	思考・判断・表現	地球上の生き物の生活環境について考えるために、好きな動物を選び、その生き物の暮らしについて、上記の表現などを用いて自分の考えや気持ちを入れながら、英語で話している。						
	主体的に 学習に取り組む態度	地球上の生き物の生活環境について考えるために、好きな動物を選び、その生き物の暮らしについて、上記の表現などを用いて自分の考えや気持ちを入れながら、英語で話そうとしている。						
過 程	時 程	○ねらい めあて	評価の 観点			☆記録に残す 評価項目〈方法〉	主な1人1台端末の活用法 [参考:報告書IV 研究の内容2(3)(4)]	
			知	思	態	●指導改善の視点	指導者側から	児童側から
つ か む	第 1 時	○地球上の生き物がどこで暮らし、何を食べているのかなどについてのやり取りを聞く活動を通して、その概要を理解できるようにする。				●やり取りの概要を理解できない児童には、音源の再生スピードを調節して、ゆっくり聞かせる。	○地球上の生き物について、易しいものから難しい内容まで5種類（レベル1～5）の音源を端末に納めておく。 [①]	○レベル1から順に聞き、内容が捉えられたら次のレベルへ進む。 [①]
		[本時のめあて] 地球上の生き物がどこで暮らし、何を食べているのかなどについて聞き取ろう。				○振り返りや学習成果物などのデータを蓄積し、評価に生かす。以後、毎時間行う。 [④]	○振り返りを端末に保存しておき次の学習に向かう材料にし、いつでも確認できるようにする。以後、毎時間行う。 [④]	
<p>単元の課題 地球上の生き物の暮らす環境について、自分の考えや気持ちを入れて英語で発表しよう。</p>								

追 究 す る 第 3 時	第 2 時	<p>○地球上の生き物がどこで暮らしているのか英語で伝え合うことができる。</p> <p>[本時のめあて] 地球上の生き物がどこで暮らしているのか英語で伝え合おう。</p>	○	<p>☆Where do ~live? , ~live in … 及びその関連語句などについて理解している。 〈観察、動画〉</p> <p>☆地球上の生き物について、本時のねらいとする表現などを用いて英語で話す技能を身に付けている。 〈観察・動画〉</p> <p>●やり取りの難しい児童には、端末内の音声モデルを繰り返し聞くよう声を掛ける。</p>	<p>○生き物や自然に関する表現などの音声や動画を端末に納めておく。 [①]</p> <p>○児童の授業中の活動に対して端末を通じて即時的に評価し、個に応じた指導をすることで、表現の質を高めさせる。 [②]</p> <p>○やり取りした動画を共有し、友達のものと比較させることで、表現の質を高めさせる。 [③]</p>	<p>○端末に納められた音声や動画を使って発音や表現の仕方を個別に学ぶ。 [①]</p> <p>○やり取りの動画に対する指導者や友達からの評価を基に、よりよい表現になるように試行錯誤しながら表現の質を高めようとする。 [②]</p> <p>○端末を活用して動画を共有することによって、友達のものと比較し、試行錯誤しながら表現の質を高めようとする。 [③]</p>
	第 3 時	<p>○地球上の生き物が食べているものについて英語で伝え合うことができる。</p> <p>[本時のめあて] 地球上の生き物が食べているものについて英語で伝え合おう。</p>	○	<p>☆What do ~ eat? , ~eat … 及びその関連語句などについて理解している。 〈観察、動画〉</p> <p>☆地球上の生き物について、本時のねらいとする表現などを用いて英語で話す技能を身に付けている。 〈観察・動画〉</p> <p>●やり取りの難しい児童には、端末内の音声モデルを繰り返し聞くよう声を掛ける。</p>	<p>○個別に単語の発音を確認できるように端末に音声を含めておく。 [①]</p> <p>○児童の授業中の活動に対して端末を通じて即時的に評価し、個に応じた指導をすることで、表現の質を高めさせる。 [②]</p> <p>○やり取りした動画を共有し、友達のものと比較させることで、表現の質を高めさせる。 [③]</p>	<p>○端末に納められた音声や動画を使って発音や表現の仕方を個別に学ぶ。 [①]</p> <p>○やり取りの動画に対する指導者や友達からの評価を基に、よりよい表現になるように試行錯誤しながら表現の質を高めようとする。 [②]</p> <p>○端末を活用して動画を共有することによって、友達のものと比較し、試行錯誤しながら表現の質を高めようとする。 [③]</p>
			<p>○地球上の生き物の食物連鎖について</p>		<p>☆What do ~ eat? , ~eat … 及びその関</p>	<p>○児童の授業中の活動に対して端</p>

第 4 時 追 究 す る	英語で伝え合うことができる。		連語句などについて理解している。 〈観察、動画〉 ☆地球上の生き物の食物連鎖について、本時のねらいとする表現を用いて英語で話す技能を身に付けている。〈観察、動画〉 ☆地球上の生き物の食物連鎖の関係を本時のねらいとする表現などを用いて英語で話している。 〈観察・動画〉 ●やり取りの難しい児童には、端末内の音声モデルを繰り返し聞くよう声を掛ける。	末を通じて即時的に評価し、個に応じた指導をすることで、表現の質を高めさせる。〔②〕	や友達からの評価を基に、よりよい表現になるように試行錯誤しながら表現の質を高めようとする。〔②〕
	<div data-bbox="255 241 502 474" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[本時のめあて] 地球上の生き物の食物連鎖について英語で伝え合おう。</p> </div>	○	○	○	○
	○好きな動物の食物連鎖について、ピラミッドチャートを活用して発表内容を考えることができる。		●食物連鎖の関係を捉えにくい児童には、端末内の友達の発表内容を参考にさせる。	○端末に生き物の画像を納めておき、食物連鎖の関係を表すための画像を活用できるようにする。〔①〕 ○作成したピラミッドチャートを共有し、友達のものと比較させることで、発表内容の質を高めさせる。〔③〕	○好きな動物の食物連鎖の関係を表すための画像は端末内のものを活用する。〔①〕 ○端末を活用してピラミッドチャートを共有することにより、友達と比較し合ったり分からないところを指導者や友達に質問したりし、発表内容の質を高めようとする。〔③〕
第 5 時 ま と め る	<div data-bbox="255 1205 502 1518" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[本時のめあて] 好きな動物の食物連鎖について、ピラミッドチャートを使って発表内容を考えよう。</p> </div>		●発表方法を思いつかない児童には、端末内のモデルを提示したり、友達の方法を参考にさせたりする。	○端末に生き物の画像を納めておき、食物連鎖の関係を表すための画像を活用できるようにする。〔①〕	○好きな動物の食物連鎖の関係を表すための画像は端末内のものを活用する。〔①〕
第 6 時	○好きな動物の食物連鎖について、ピラミッドチャートを基に発表方法を考えることができる。				

ま 第 7 と 時 め る	<p>[本時のめあて] 好きな動物の食物連鎖について、発表方法を考えよう。</p>				
	<p>○好きな動物の食物連鎖について、自分の考えや気持ちを入れながら英語で話そうとしている。</p> <p>[本時のめあて] 好きな動物の食物連鎖について、自分の考えや気持ちを入れて英語で話そう。</p>	○ ○	<p>☆地球上の生き物の生活環境について考えるために、好きな動物の暮らしについて既習の表現などを用いて自分の考えや気持ちを入れながら英語で話している。 〈観察・動画〉</p> <p>☆地球上の生き物の生活環境について考えるために、好きな動物の暮らしについて既習の表現などを用いて自分の考えや気持ちを入れながら英語で話そうとしている。 〈観察〉</p> <p>●自分の考えや気持ちを入れられない児童には、端末内のモデルを参考にさせる。</p>	<p>○児童の授業中の活動に対して端末を通じて即時的に評価し、個に応じた指導をすることで、表現の質を高めさせる。 [②]</p> <p>○作成した発表資料を共有し、友達のものと比較させることで、発表内容の質を高めさせる。 [③]</p>	<p>○やり取りの動画に対する指導者や友達からの評価を基に、よりよい表現になるように試行錯誤しながら表現の質を高めようとする。 [②]</p> <p>○端末を活用して発表資料を共有することにより友達と比較し合ったり分からないところを指導者や友達に質問したりし、発表内容の質を高めようとする。 [③]</p>
第 8 時	<p>○地球上の生き物の生活環境について考えるために、好きな動物の暮らしについて、既習の表現などを用いて自分の考えや気持ちを入れながら英語で話している。</p> <p>[本時のめあて] 地球上の生き物の暮らす環境について、自分の考えや気持ちを入れて英語で発表しよう。</p>	○ ○	<p>☆地球上の生き物の生活環境について考えるために、好きな動物の暮らしについて既習の表現などを用いて自分の考えや気持ちを入れながら英語で話している。 〈観察・動画〉</p> <p>☆地球上の生き物の生活環境について考えるために、好きな動物の暮らしについて既習の表現などを用いて自分の考えや気持ちを入れながら英語で話そうとしている。 〈観察〉</p>	<p>○端末を活用した相互評価を基に自分の発表内容を振り返り、よりよい表現になるように個に応じた指導を行い、表現の質を高めさせる。 [②]</p>	<p>○発表内容に対する友達からの評価を基に、よりよい表現になるように試行錯誤しながら表現の質を高めようとする。 [②]</p>

				●即時的な相互評価を行うことで、その評価を基に自分を振り返らせ、表現の質を高めさせる。	
--	--	--	--	---	--

6 本時の展開 (1/8)

- (1) ねらい 地球上の生き物がどこで暮らし、何を食べているのかなどについてのやり取りを聞く活動を通して、その概要を理解できるようにする。
- (2) 扱う主な単語 camel, eagle, whale, shark, sea turtle, squid, jellyfish, shrimp, ant, grasshopper, spider
- (3) 準備 教科書、フラッシュカード (生き物)、振り返りシート、1人1台端末
- (4) 展開

学習活動 ・予想される児童の反応 めあて	時間	○指導上の留意点及び支援 ●(C)努力を要する児童への支援 ◇評価	1人1台端末の活用法 研究上の手立て	
			指導者	児童
1 あいさつをする。 2 好きな動物について Small Talkをする。	8分	○生き物の学習内容に円滑に移れるように動物に関する内容とする。 ○すぐに好きな動物を選べるように動物のカードを黒板に貼っておく。		
Small Talk : T1 : Hello ! What animal do you like? デモンストレーション T2 : I like dogs. T1 : Why? T2 : Because dogs are cute! Dogs can run fast. How about you? T1 : I like lions! T2 : Why? T1 : Because lions are strong! Lions can run fast,too. T2 : I see.				
		○やり取りが続くように、指導者が複数の児童とやり取りをした後、児童同士で行わせる。		
3 本時のめあてをつかむ。				
[本時のめあて] 地球上の生き物がどこで暮らし、何を食べているのかなどについて聞き取ろう。				
4 地球上の生き物の単語を確認する。 ・虫の単語がよく分からないから、スピーキングボックスを使おう。 ・自分のペースで確認できるから自信がついた。	7分	○英語での言い方を確認しやすいように、フラッシュカードを活用する。 ○単語の発音を各自で確認できるように端末の音源 Picture and Dictionary (以下PD) を参考にさせ	○個々に単語の発音を確認できるように端末に音源を納めておく。 [①]	○端末に納められた音声モデルや動画を使って発音や表現の仕方を個別に学ぶ。 [①]

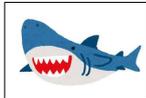
		る。 ●ALTと机間支援を行い、単語の発音を確認する。		
5 地球上の生き物の単語を使ってキーワードゲームとフェイントリピートゲームをする。 ・ゲームでしっかり単語を確認できた。	8分	○単語の確認が十分できるように、発音しにくい、覚えにくい動物名を繰り返し用いる。		
6 地球上の生き物の暮らしに関するやり取りを聞き、その概要を理解する。 Practice→全員で行う レベル1→Very easy レベル2→Easy レベル3→Normal レベル4→Hard レベル5→Very hard ・何を言っているのかが分かってきた。嬉しい。 ・Level 2を合格したぞ！次はLevel 3に挑戦だ。	15分	○学習の進め方が分かるように、Practiceを設け、聞き取る内容と提出の方法を確認する。 ○聞き取る内容をレベルアップさせながら個別に聞けるように、レベル1～5までの音源を準備しておく。 ○聞き取る内容の正誤が分かるように、端末を通して提出させる。聞き取れたら次のレベルへ進ませる。 ●やり取りの概要を理解できない児童には、音源の再生スピードを調節してゆっくり聞かせる。	○地球上の生き物について、易しいものから難しい内容まで5種類（レベル1～5）の音源を端末に納めておく。 [①] ○児童の授業中の活動に対して端末を通じて即時的に評価し、個に応じた指導をし、次の課題に取り組みさせる。 [②]	○レベル1から順に聞き、内容が捉えられたら次のレベルへ進む。 [①] ○捉えた内容を端末を通して提出し、指導者からの即時的な評価を基に、内容が捉えられたか確認する。 [②]
7 授業の振り返りを端末に入力する。 ・やり取りの内容は、はじめは全く聞き取れなかったけれど、繰り返し聞いているうちに分かってきたから嬉しかった。 ・もう一度聞いて自分をレベルアップさせたい。	7分	○自分の学習の過程を自分で確認できるよう、どのように取り組んだか、その結果はどうだったかを振り返らせ、記入させる。 ○次時の内容を伝え、どのように臨みたいかを記入させる。	○振り返りを端末に入力させ、学級全体で共有する。 [③] ○振り返りや学習成果などのデータを蓄積し、評価に生かす。 [④]	○端末に振り返りを入力し、提出する。あるいはワークシートに記入したものを画像で提出する。 [④] ○振り返りを端末に保存しておき次の学習に向かう材料にしたいいつでも確認できるようにする。 [④]
[単元の課題] 地球上の生き物の暮らす環境について、自分の考えや気持ちを入れて英語で発表しよう。				
		○本時の学習と関連させ、単元の見通しをもたせる。		

板書計画

Today's goal

地球上の生き物がどこで暮らし、
何を食べているのかなどについて聞き取ろう。

フラッシュカード (生き物)



* 授業内容、児童の実態に応じて、フラッシュカードの枚数や生き物の種類を適宜変更する。

本時の展開（2／8）

- (1) **ねらい** 地球上の生き物がどこで暮らしているのか英語で伝え合うことができる。
- (2) **扱う主な単語** desert, forest, island, lake, savanna, mountain, river, wetland
主な表現 Where do ~ live? ~ live in ….
- (3) **準備** 教科書、フラッシュカード（自然）、振り返りシート、1人1台端末、リズムボックス（デジタル教科書内）
- (4) **展開**

学習活動 ・予想される児童の反応 めあて	時間	○指導上の留意点及び支援 ●(C)努力を要する児童への支援 ◇評価	1人1台端末の活用法 研究上の手立て	
			指導者	児童
1 あいさつをする。 2 前時の復習をする。 ・もう一度、前回の生き物の暮らしのやり取りを聞いて、レベルアップするぞ。	5分	○前時にできなかったことや、やりたかったことなどを解消できるように、前時の振り返りを確認させ、各自で聞き取る時間を設ける。 ○前時の続きのレベルから取り組むように伝える。	○前時の振り返りと聞き取った成果を評価した指導者のコメントを確認させ、前時の続きから取り組めるようにする。 [②]	○前時の振り返り、指導者からの評価とコメントを確認し、聞き取る際に役立てる。 [④]
3 クイズを解きながら、本時のめあてをつかむ。	7分	○答え方を捉えさせるために、はじめは指導者が答え、少しずつ児童に答えさせる。その際、指導者は答えを繰り返し言うようにする。		

*会話の「A」はALT、「B」は担任が行う（逆でもよい）

A : Let's play a quiz game!

First question. Where do **bears** live? Where do bears live?

B : Umm..., (児童に投げかける) Where do bears live?

(児童のつぶやきを聞いて) Ah ha! Mountain. In the mountain.

Bears live **in the mountain.**

A : That's right. Mountain. In the mountain. Bears live in the mountain.

B : **Second question.** Where do **penguins** live? Where do penguins live?

A : Penguins? (児童に投げかける) Where do penguins live?

(児童のつぶやきを聞いて) I see! Sea. In the sea. Penguins live in the sea.

B : That's right. Sea. In the sea. Penguins live **in the sea.**

A : **Third question.** Where do **sea turtles** live? Where do sea turtles live?

B : (児童に投げかける) Where do sea turtles live?

(児童に答えさせてみる) Ah ha! Sea. In the sea. Sea turtles live **in the sea.**

A : Good job. In the sea. Sea turtles live in the sea.

B : **Fourth question.** Where do **eagles** live? Where do eagles live?

A : (児童に答えさせてみる) Yes! In the forest. Eagles live **in the forest.**

B: Excellent! In the forest. Eagles live in the forest.

A: **Last question.** Where do **lions** live? Where do lions live?

B: (児童に答えさせてみる) Yes! Savanna. In the savanna. Lions live **in the savanna.**

A: That's right. Savanna. In the savanna. Lions live **in the savanna.**

[本時のめあて]

地球上の生き物がどこで暮らしているのか英語で伝え合おう。

<p>4 生き物が暮らしている場所の英単語を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サバンナの言い方が難しいな。 ・一人で言えるか確認したい。 	<p>8分</p>	<p>○英語での言い方を確認しやすいように、フラッシュカードを活用する。</p> <p>○単語の確認が十分できるように、発音しにくい、覚えにくい単語を繰り返し用いる。</p>	<p>○生き物や自然に関する表現などの音源や動画を端末に納めておく。 [①]</p>	<p>○端末に納められた音声や動画を使って発音や表現の仕方を個別に学ぶ。 [①]</p>
<p>6 本時のねらいとする表現を確認する。</p> <p>(1)リズムボックスで確認する。</p> <p>♪ Where do (lions) live? (Lions) live in the savanna.</p> <p>(2)ペアで確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムをつけると、すらすら言えて嬉しい。 	<p>8分</p>	<p>○明るい雰囲気ですテンポよく活動できるように、デジタル教科書内のリズムボックスを活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●単語の発音を各自で確認できるように、端末内の音声やPDを参考にさせる。 ●分からないことは、友達や指導者に教えてもらってよいことを伝える。 ●やり取りの難しい児童には、端末内の音声モデルを繰り返し聞くよう声を掛ける。 	<p>○本時のねらいとする表現の音源を端末に納めておき、いつでも確認できるようにしておく。 [①]</p>	<p>○本時のねらいとする表現の仕方が分からないとき、端末を活用して発音や語順を確認する。 [①]</p>
<p>7 地球上の生き物がどこで暮らしているか伝え合う (三人組)。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>やり取り</p> <p>児童A ← → 児童B</p> <p>↑</p> <p>児童C (撮影、評価)</p> <p>(これをローテーションで行う)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんは、はっきり発音していて聞きやすい。 		<p>○自分の表現を客観的に振り返られるように友達とのやり取りを他の友達に撮影してもらおう。</p> <p>○互いの表現の質がよりよくなるように相互評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●分からないことは、友達や指導者に教えてもらってよいことを伝える。 		

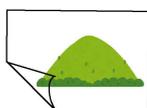
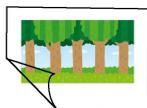
<p>8 撮影したやり取りの動画を学級全体で共有し、表現の質を高める。</p>	<p>10分</p>	<p>○表現の質が高まるよう、やり取りの動画を指導者に提出させ、個に応じた指導を行う。</p> <p>○表現の質が高まるよう、児童の動画を学級全体で共有し、中間評価を行う。</p>	<p>○児童の授業中の活動に対して端末を通じて評価し、個に応じた指導をすることで、表現の質を高めさせる。 [②]</p> <p>○やり取りした動画を共有し、友達のものと比較させることで、表現の質を高めさせる。 [③]</p>	<p>○やり取りの動画に対する指導者や友達からの評価を基に、よりよい表現になるように試行錯誤しながら表現の質を高めようとする。 [②]</p> <p>○端末を活用して動画を共有することによって、友達のものと比較し、試行錯誤しながら表現の質を高めようとする。 [③]</p>
<p>◇ [知識] Where do ~live?, ~live in ... 及びその関連語句などについて理解している。</p> <p>[技能] 地球上の生き物について、本時のねらいとする表現などを用いて英語で話す技能を身に付けている。</p> <p>【知識・技能】(観察、動画)</p>				
<p>9 一番よいやり取りの動画を提出する。</p>		<p>○めあてを達成できるように中間評価を基に再度録画し、提出させる。</p>	<p>○やり取りの動画を提出するように伝え、データとして蓄積しておく。 [④]</p>	
<p>10 振り返りをする。</p> <p>・Where do ~ live?の言い方が難しかったけれど端末の音源を何度も聞いたら言えるようになった。</p> <p>・録画すると自分の話し方が客観的に分かる。もう一度録画し直したい。</p>	<p>7分</p>	<p>○自分の学習の過程を自分で確認できるよう、どのように取り組んだか、その結果はどうだったかを振り返らせ、記入させる。</p> <p>○次時の内容を伝え、次回はどのように臨みたいか記入するよう声を掛ける。</p>	<p>○振り返りを端末に入力させ、学級全体で共有する。 [③]</p> <p>○振り返りや学習成果などのデータを蓄積し、評価に生かす。また、児童の学習成果や振り返りを基に、次時の指導改善に役立てる。 [④]</p>	<p>○端末に振り返りを入力し、提出する。あるいはワークシートに記入したものを画像で提出する。 [④]</p> <p>○振り返りを端末に保存しておき次の学習に向かう材料にし、いつでも確認できるようにする。 [④]</p>

板書計画

Today's goal

地球上の生き物がどこで暮らしているのか英語で伝え合おう。

フラッシュカード (自然)



Where do  live?

 live in the  .

本時の展開（3／8）

- (1) **ねらい** 地球上の生き物が食べているものについて英語で伝え合うことができる。
- (2) **主な表現** What do ~ eat? ~ eat ….
- (3) **準備** 教科書、生き物カルタカード、振り返りシート、1人1台端末
- (4) **展開**

学習活動 ・予想される児童の反応 めあて	時間	○指導上の留意点及び支援 ●(C)努力を要する児童への支援 ◇評価	1人1台端末の活用法 研究上の手立て	
			指導者	児童
1 あいさつをする。 2 前時の復習をする。 ・もう一度録画して、自分の言い方を確かめたい。	7分	○前時にできなかったことや、やりたかったことなどを解消できるように、前時の振り返りを確認させ、動画を見直す。 ○動画を再提出できるように録画し直してもよいことを伝える。	○前時の振り返りと学習成果の評価、指導者のコメントを確認させ、動画の見直すように促し課題を捉えさせる。 [②]	○前時の振り返り、指導者からの評価とコメントを確認する。自分の課題を捉えるとともに動画を見直す際に役立つ。 [④]
3 クイズを解きながら、本時のめあてをつかむ。	6分	○答え方を捉えさせるために、はじめは指導者が答え、少しずつ児童に答えさせる。その際、指導者は答えを繰り返し言うようにする。		

*会話の「A」はALT、「B」は担任が行う（逆でもよい）

A : Let's play a quiz game!

First question. What do **lions** eat? (食べるジェスチャーを付けて)What do lions eat?

B : Umm..., (児童に投げかける) What do lions eat?

(児童のつぶやきを聞いて)Ah ha! Zebras. Lions eat **zebras**.

A : That's right. Lions eat zebras.

B : **Second question.** What do **penguins** eat? What do penguins eat?

A : Penguins? (児童に投げかける)What do penguins eat?

(児童のつぶやきを聞いて)I see! Fish. Penguins eat fish.

B : That's right. Penguins eat **fish**.

A : **Third question.** What do **sea turtles** eat? What do sea turtles eat?

B : (児童に投げかける) What do sea turtles eat?

(児童に答えさせてみる)Ah ha! Jellyfish. Sea turtles eat **jellyfish**.

A : Good job. Sea turtles eat jellyfish.

B : **Fourth question.** What do **eagles** eat? What do eagles eat?

A : (児童に答えさせてみる) Yes! Frogs(or Rabbits or Mice or Snakes or Birds).

Eagles eat **Frogs**(or Rabbits or Mice or Snakes or Birds).

B : Excellent! Eagles eat **Frogs**(or Rabbits or Mice or Snakes or Birds).

*森林伐採の影響で熊が人里に下りてきて畑を荒らすことを例に挙げ、環境に触れ単元の課題を意識させる。

A: **Last question.** What do **bears** eat? What do bears eat?

B: (児童に答えさせてみる) Yes! Fish(or nuts).

Bears eat **fish**(or nuts).

A: That's right. Bears eat fish(or nuts) .

And bears eat peaches, apples, corns, nuts in our field.

Because people cut trees in the mountains.

There is nothing to eat in the mountain. So bears are hungry.

[本時のめあて]

地球上の生き物が食べているものについて英語で伝え合おう。

4 本時のねらいとする表現を確認する。

(1)リズムボックスで確認する。

♪ What do (lions) eat?

♪ (Lions) eat (zebras).

(2)ペアで確認する。

・WhereとWhat、どちらか分からなくなったから端末で確認しよう。

・前回の言い方と似ているから、間違えないようによく確認しよう。

6分

○明るい雰囲気ですテンポよく活動できるように、デジタル教科書内のリズムボックスを活用する。

○各自単語を確認できるように、端末の活用を促す。

●単語の発音を各自で確認できるように、端末内の音源やPDを参考にさせる。

●分からないことは、友達や指導者に教えてもらってよいことを伝える。

●やり取りの難しい児童には、端末内の音声モデルを繰り返し聞くよう声を掛ける。

○個別に単語の発音を確認できるように端末に音声を納めておく。

[①]

○端末に納められた音声や動画を使って発音や表現の仕方を個別に学ぶ。 [①]

5 マッチングカードゲームをする (二人組)。

ルール:一人ずつ順に行く。

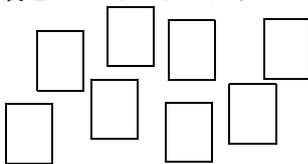
①食べる側のカード

裏返して重ねておく



②食べられる側のカード

裏返してバラバラにおく



20分

○正しい食物連鎖の関係を楽しく英語で言えるように、カードゲームを取り入れる。

●分からないことは、友達や指導者に教えてもらってよいことを伝える。

(1)①のカードを1枚引く。

(2)周りの人が質問する。

<p>What do(①の動物)eat? (3)②のカードを1枚めくる。 (4)カードを引いた人が答える。 (①の動物) eat (②). 食物連鎖の関係が合っていれば、カードを引いた人が①②のカードをもらえる。はずれるまで続ける。はずれたらカードを戻す。 (5)次の人が行う。</p> <p>6 マッチングカードゲームで獲得したカードを使って、やり取りを録画する。</p> <p>7 やり取りの動画を学級全体で共有し、表現の質を高める。 ・もっとゆっくり話した方がよいと教えてもらった。気付かないうちに早口になっていた。気を付けよう。</p>	<p>○互いの表現の質がよりよくなるように相互評価させる。 ○自分の表現を客観的に振り返られるように、手元にあるカードを使って友達とのやり取りを他の友達に録画してもらう。</p> <p>○表現の質が高まるよう、動画データを指導者に提出させ、即時的に個に応じた指導を行う。 ○表現の質が高まるよう、児童の動画を学級全体で共有して自分の表現と比較する。</p>	<p>○児童の授業中の活動に対して端末を通じて即時的に評価し、個に応じた指導をすることで、表現の質を高めさせる。 [②] ○やり取りの動画を学級全体で共有し、友達のものと比較させることで、表現の質を高めさせる。 [③]</p>	<p>○やり取りの録画に対する指導者や友達からの評価を基に、よりよい表現になるように試行錯誤しながら表現の質を高めようとする。 [②] ○端末を活用して録画を共有することによって、友達のものと比較し、試行錯誤しながら表現の質を高めようとする。 [③]</p>
<p>◇ [知識] What do ~ eat?, ~eat ... 及びその関連語句などについて理解している。 [技能] 地球上の生き物について、本時のねらいとする表現などを用いて英語で話す技能を身に付けている。 【知識・技能】(観察、動画)</p>			
<p>8 振り返りをする。 ・〇〇さんがWhere do ~ live?とWhat do ~eat?を間違えないようにジェスチャーを付けていたから真似をしてたら、自分でも間違えなくなった。</p>	<p>6分 ○自分の学習の過程を自分で確認できるよう、どのように取り組んだか、その結果はどうだったかを振り返らせ、記入させる。 ○次時の内容を伝え、次回はどのように臨みたいかを記入するよう声を掛ける。</p>	<p>○振り返りを端末に入力させ、学級全体で共有する。 [③] ○振り返りや学習成果などのデー</p>	<p>○端末に振り返りを入力し、提出する。あるいはワークシートに記入したものを画像で提出する。 [④] ○振り返りを端末に保存しておく</p>

		<p>タを蓄積し、評価に生かす。また、児童の学習成果や振り返りを基に、次時の指導改善に役立 てる。 [④]</p>	<p>次の学習に向かう材料にしいつでも確認できるようにする。 [④]</p>
--	--	---	--

板書計画

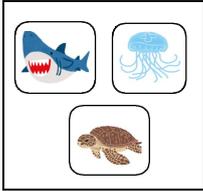
Today's goal

地球上の生き物の食べているものについて、英語で伝え合おう。

What do  eat ?  eat  .

本時の展開（４／８）

- (1) ねらい 地球上の生き物の食物連鎖について英語で伝え合うことができる。
- (2) 主な表現 What do ~eat? ~eat ….
- (3) 準備 教科書、振り返りシート、１人１台端末
- (4) 展開

学習活動 ・予想される児童の反応 めあて	時間	○指導上の留意点及び支援 ●(C)努力を要する児童への支援 ◇評価	１人１台端末の活用法 研究上の手立て	
			指導者	児童
1 あいさつをする。 2 前時の復習をする。 ・学習した表現も簡単に言えるようになってきた。 他の動物でもスムーズに言えるようにしたい。	7分	○前時にできなかったことや、やりたかったことなどを解消できるように、前時の振り返りを確認させ、動画を見直す。 ○動画を再提出できるように、録画し直してよいことを伝える。	○前時の振り返りと学習成果の評価、指導者のコメントを確認させ、動画を見直しするように促し課題を捉えさせる。 [②]	○前時の振り返り、指導者からの評価とコメントを確認する。自分の課題を捉えるとともに動画を見直す際に役立つ。 [④]
3 クイズを解きながら、本時のめあてをつかむ。	8分	○いろいろな食物連鎖に触れられるように多くの問題を出す。		
<p>ALT : Let's play a quiz game! Look at this picture.</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>3種類の絵を見せ、食物連鎖の関係を順番にして英語で言う。 答え ①Sharks eat sea turtles. ②Sea turtles eat jellyfish. (同様の問題を4問出し、食物連鎖の関係を考えさせる)</p> </div> </div>				
<p>[本時のめあて] 地球上の生き物の食物連鎖について伝え合おう。</p>				
4 クイズを解き、答えを録音して提出する。 (1) 絵を見て、ペアで協力して食物連鎖の関係を順番に英語で言う（録画し、提出する）。 (2) 合っていたら1ポイント獲得。次の問題に取り組む。 ・先に言う動物の方が主語だ。日本語と同じだ。 ・食物連鎖の関係を順に言うには四つの絵のうち、どれを一番先に言えばよ	20分	○食物連鎖の関係と語順を意識できるように指導者からクイズを出し、録音して提出させる。 ○積極的に取り組めるようにポイント制にする。 ●語順を理解できるように端末の音源を参考にさせたり、友達に確認させたりする。	○児童の授業中の活動に対して端末を通じて即時的に評価し、個に応じた指導をすることで、表現の質を高めさせる。 [②]	○やり取りの録画に対する指導者や友達からの評価を基に、よりよい表現になるように試行錯誤しながら表現の質を高めようとする。 [②]
<p>◇ [知識] What do ~eat?, ~eat …. 及びその関連語句などについて理解している。 [技能] 地球上の生き物の食物連鎖について、本時のねらいとする表現を用いて英語で話す技能を身に付けている。 【知識・技能】(観察、動画)</p>				

<p>いかな。友達に確認しよう。</p>		<p>◇地球上の生き物の食物連鎖の関係を本時のねらいとする表現などを用いて英語で話している。</p> <p>【思考・判断・表現】(観察・動画)</p>		
<p>5 振り返りをする。 ・クイズを解いていて、語順が大事だと分かった。 ・クイズをたくさん解いているうちに、間違えずに言えるようになった。</p>	<p>10分</p>	<p>●やり取りの難しい児童には、端末内の音声モデルを繰り返し聞くよう声を掛ける。</p> <p>○自分の学習の過程を自分で確認できるよう、どのように取り組んだか、その結果はどうだったかを振り返らせ、記入させる。</p> <p>○次時の内容を伝え、次回はどのように臨みたいかを記入するよう声を掛ける。</p>	<p>○振り返りを端末に入力させ、学級全体で共有する。 [③]</p> <p>○振り返りや学習成果などのデータを蓄積し、評価に生かす。また、児童の学習成果や振り返りを基に、次時の指導改善に役立つ。 [④]</p>	<p>○端末に振り返りを入力し、提出する。あるいはワークシートに記入したものを画像で提出する。 [④]</p> <p>○振り返りを端末に保存しておき次の学習に向かう材料にしいつでも確認できるようにする。 [④]</p>

板書計画

Today's goal

地球上の生き物の食物連鎖について、英語で伝え合おう。

What do  eat?

 eat  .

Food chain quiz!!

1 

2 

3 

解答 (1 → 3 → 2)

本時の展開（5／8）

- (1) **ねらい** 好きな動物の食物連鎖について、ピラミッドチャートを活用して発表内容を考えることができる。
- (2) **主な表現** Where do ~ live?, ~live in the …., What do ~eat? ~eat ….
- (3) **準備** 教科書、ワークシート、振り返りシート、1人1台端末
- (4) **展開**

学習活動 ・予想される児童の反応 めあて	時間	○指導上の留意点及び支援 ●(C)努力を要する児童への支援 ◇評価	1人1台端末の活用法 研究上の手立て	
			指導者	児童
1 あいさつをする。 2 前時の復習をする。 ・食物連鎖クイズの続きをしよう。	5分	○前時の学習でできなかったことや、やりたかったことなどを解消できるように、前時の振り返りを確認させ、食物連鎖のクイズを2問行う。	○前時の振り返りと学習成果の評価、指導者のコメントを確認させ、食物連鎖のクイズを2問させる。前時の学習の課題を捉えさせる。 [②]	○前時の振り返り、指導者からの評価とコメントを確認する。自分の課題を捉えたうえで、食物連鎖のクイズをする際に役立てる。 [④]
3 学習した表現をリズムボックスに合わせて復習する。 ♪ Where do (bears) live? (Bears) live in the forest. ♪ What do (bears) eat? (Bears) eat fish.	5分	○明るい雰囲気ではテンポよく活動できるように、デジタル教科書内のリズムボックスを活用する。		
4 本時のめあてをつかむ				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>[本時のめあて] 好きな動物の食物連鎖について、ピラミッドチャートを使って発表内容を考えよう。</p> </div>				
5 食物連鎖の発表内容を考える。 ・思考ツールボックスのピラミッドチャートを使うと食物連鎖の関係が分かりやすい。 ・「食べる・食べられる」の生き物の関係を4段にしよう。		○イメージしやすいように端末を活用して例（ピラミッドチャート）を提示する。 ○食物連鎖の関係が明確になるように、ピラミッドチャートを活用させる。 ○様々な食物連鎖の関係を考えられるように、理科で学習したことを想起させる。 ●食物連鎖の関係を捉えにくい児童には、端末内の友達の発表内容を参考にさせる。	○端末に生き物の画像を納めておき、食物連鎖の関係を表すための画像に活用できるようにする。 [①]	○好きな動物の食物連鎖の関係を表すための画像は端末内のものを活用する。 [①]

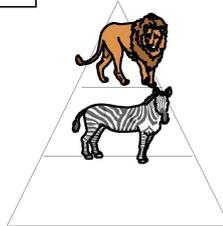
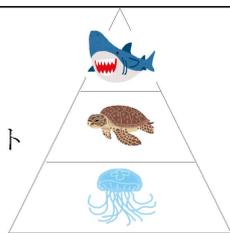
<p>6 ピラミッドチャートを提出し、学級全体で共有する。</p>	<p>25分</p>	<p>●食物連鎖の関係が不明確な場合には、友達や指導者に相談してよいことを伝える。</p> <p>○早く考えられた児童は、発表内容を英語で考え、ワークシートに写し書きしてよいことを伝える。</p> <p>○友達がどのような動物の食物連鎖を考えているのか参考にできるように学級全体で共有する。</p>	<p>○作成したピラミッドチャートを共有し、友達のものと比較させることで、発表内容の質を高めさせる。 [③]</p> <p>○作成したピラミッドチャートを提出するように伝え、データとして蓄積しておく。 [③]</p>	<p>○端末を活用してピラミッドチャートを共有することにより、友達と比較し合ったり分からないところを指導者や友達に質問したりし、発表内容の質を高めようとする。 [③]</p> <p>○端末に作成した発表資料を保存し、提出する。 [③]</p>
<p>7 振り返りをする。</p> <p>・〇〇さんもワシを選んでいるけれど、食べられる動物が違うから面白い。</p> <p>・動物が何を食べるか予想させたいから、スライドにして発表したいな。</p>	<p>10分</p>	<p>○自分の学習の過程を自分で確認できるよう、どのように取り組んだか、その結果はどうだったかを振り返らせ、記入させる。</p> <p>○次時の内容を伝え、次回はどのように臨みたいかを記入するよう声を掛ける。</p>	<p>○振り返りを端末に入力させ、学級全体で共有する。 [③]</p> <p>○振り返りや学習成果などのデータを蓄積し、評価に生かす。また、児童の学習成果や振り返りを基に、次時の指導改善に役立てる。 [④]</p>	<p>○端末に振り返りを入力する。あるいはワークシートに記入したものを画像で提出する。 [④]</p> <p>○振り返りを端末に保存しておき次の学習に向かう材料にし、いつでも確認できるようにする。 [④]</p>

板書計画

Today's goal

好きな動物の食物連鎖について、ピラミッドチャートを使って発表内容を考えよう。

食物連鎖
ピラミッドチャート



本時の展開（6／8）

- (1) **ねらい** 好きな動物の食物連鎖について、ピラミッドチャートを基に発表方法を考えることができる。
- (2) **主な表現** Where do ~ live?, ~ live in the ..., What do ~ eat?, ~ eat ...
- (3) **準備** 教科書、ワークシート、振り返りシート、1人1台端末
- (4) **展開**

学習活動 ・予想される児童の反応 めあて	時間	○指導上の留意点及び支援 ●(C)努力を要する児童への支援 ◇評価	1人1台端末の活用法 研究上の手立て	
			指導者	児童
1 あいさつをする。 2 前時の確認をする。 ・二つのピラミッドチャートを作ったけれど、どちらを発表しようかな。	5分	○スムーズに本時の活動に入れるように、前時のピラミッドチャートを確認する。	○前時の振り返りと学習成果の評価、指導者のコメントを確認させる。発表を意識させながらピラミッドチャートを選択させる。 [②]	○前時の振り返り、指導者からの評価とコメントを確認する。発表を意識しながら端末内の作成したピラミッドチャートを選択する際に役立てる。 [④]
3 本時のめあてをつかむ。				
[本時のめあて] 好きな動物の食物連鎖について、発表方法を考えよう。				
4 発表方法を決め、英語表現を考える。 ・1枚のスライドの中に動物の画像をまとめて入れよう。 ・紙芝居風にした方が分かりやすいかな。	30分	○発表方法を決められるように、ALTとモデル提示をする。 ●発表方法を思い付かない児童には、端末内のモデルを提示したり、友達の方法を参考にさせたりする。 ○早く考えられた児童は、発表内容を英語で考え、ワークシートに書き写してよいことを伝える。	○端末にモデルを納めておき、発表方法の参考にさせる。 [①] ○端末に生き物の画像を納めておき、食物連鎖の関係を表すための画像に活用できるようにする。 [①] ○個々に表現の言い方や発音の仕方を確認できるように端末内の音源を参考にさせる。 [①]	○好きな動物の食物連鎖の関係を表すための画像は端末内のものを活用する。 [①] ○端末に納められた音声を使って表現の仕方を個別に学ぶ。 [①]
5 発表資料を提出し、学級全体で共有する。		○発表方法が充実するように、児童の発表資料を学級全体で共有する。	○発表資料を学級全体で共有し、発表方法を充実させる。 [③]	○端末に作成した発表資料を保存し、提出する。 [④]
6 修正後、再提出する。		○発表資料を共有後、よりよい資料になるように修	○発表資料を提出	

		正した場合は、再提出するよう伝える。	させ、データとして蓄積する。 [④]	
7 振り返りをする。 ・発表は1枚のスライドにまとめた。動物を指しながら食物連鎖の関係を言った方が分かりやすい。 ・発表前に自分の話し方を録画して確認したい。	10分	○自分の学習の過程を自分で確認できるよう、どのように取り組んだか、その結果はどうだったかを振り返らせ、記入させる。 ○次時の内容を伝え、次回はどのように臨みたいかを記入するよう声を掛ける。	○振り返りを端末に入力させ、学級全体で共有する。 [③] ○振り返りや学習成果などのデータを蓄積し、評価に生かす。また、児童の学習成果や振り返りを基に、次時の指導改善に役立つ。 [④]	○端末に振り返りを入力する。あるいはワークシートに記入したものを画像で提出する。 [④] ○振り返りを端末に保存しておき次の学習に向かう材料にし、いつでも確認できるようにする。 [④]

板書計画

<p>Today's goal</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>好きな動物の食物連鎖について、発表方法を考えよう。</p> </div> <p>～発表方法例～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェスチャーを付けて ・紙芝居風→イラストを描いて →画像を使って ・スライドを使って→複数枚にして →1枚にまとめて など
--

本時の展開（7／8）

- (1) **ねらい** 好きな動物の食物連鎖について、自分の考えや気持ちを入れながら英語で話そうとしている。
- (2) **主な表現** Where do ~ live?, ~live in the …., What do ~eat?, ~eat ….
- (3) **準備** 教科書、ワークシート、振り返りシート、1人1台端末
- (4) **展開**

学習活動 ・予想される児童の反応 めあて	時間	○指導上の留意点及び支援 ●(C)努力を要する児童への支援 ◇評価	1人1台端末の活用法 研究上の手立て	
			指導者	児童
1 あいさつをする。 2 前時の確認をする。 ・前時で考えた発表内容をもう一度端末で確認しよう。	5分	○前時の学習でできなかったことや、やりたかったことなどを解消できるように、前時の振り返りを確認させる。 ○隣同士で発表内容を伝え合い、正しく言えているか確認させる。	○前時の振り返りと聞き取った成果を評価した、指導者のコメントを確認させ、課題を捉えさせる。発表を意識して内容を確認させる。 [②]	○前時の振り返り、指導者からの評価とコメントを確認し、課題を捉える。発表を意識して内容を確認する。 [④]
3 本時のめあてをつかむ。	8分	○自分の気持ちや考えを入れると発表が充実することに気付かせるために、以下の2例を聞かせる。 ○環境問題や絶滅危惧種に関することも触れられるようにカメやクマの具体例を出す。		
<p>～指導者～ Hello. Where do sea turtles live? Sea turtles live in the sea. What do sea turtles eat? Sea turtles eat jellyfish. Jellyfish eat fisheggs. Thank you for listening.</p>		<p>～ALT～ Hello. Where do sea turtles live? Sea turtles live in the sea. What do sea turtles eat? Sea turtles eat jellyfish. Sea turtles eat plastics,too. It's not good. Jellyfish eat fisheggs. Thank you for listening.</p>		
<p>[本時のめあて] 好きな動物の食物連鎖について、自分の考えや気持ちを入れて英語で話そう。</p>				
4 自分の考えや気持ちを入れた発表になるように英語表現を考える。 ・カメがクラゲと間違えてプラスチックを食べてい		●自分の考えや気持ちを入れるところは友達や指導者に相談してよいことを伝える。 ○自分の気持ちや考えを引		

<p>るとニュースで聞いたことがある。それを加えてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> クマが山から下りてきて農家の畑を荒らしていることも環境につながりそうだ。 	<p>き出せるように、まず日本語で説明させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自分の考えや気持ちを入れられない児童には、端末内のモデルを参考にさせる。 		
<p>5 発表内容の動画を提出し、学級全体で共有する。</p>	<p>25分</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇地球上の生き物の生活環境について考えるために、好きな動物の暮らしについて、既習の表現などを用いて自分の考えや気持ちを入れながら英語で話している。 【思考・判断・表現】(観察、動画) ◇地球上の生き物の生活環境について考えるために、好きな動物の暮らしについて、既習の表現などを用いて自分の考えや気持ちを入れながら英語で話そうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】(観察、動画) ○早く考えられた児童は、自分の考えや気持ちをワークシートに英語で書き写してもよいことを伝える。 ○次時の発表練習になるように、ペアで録画し合い、提出させる。 ○表現の質が高まるよう、画像データを指導者に提出させ、個に応じた指導を行う。 ○表現の質が高まるよう、児童の動画を学級全体で共有して中間評価を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の授業中の活動に対して端末を通じて評価し、個に応じた指導をすることで、表現の質を高めさせる。 [②] ○作成した発表資料を共有し、友達のものと比較させることで、発表内容の質を高めさせる。 [③] 	<ul style="list-style-type: none"> ○やり取りの動画に対する指導者や友達からの評価を基に、よりよい表現になるように試行錯誤しながら表現の質を高めようとする。 [②] ○端末を活用して発表資料を共有することにより友達と比較し合ったり分からないところを指導者や友達に質問したりし、発表内容の質を高めようとする。 [③]
<p>6 発表動画の見直しを行い、一番よいものを提出する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○めあてを達成できるように、中間評価を基に録画し、再提出させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○やり取りを録画し、提出するように伝え、データとして蓄積しておく。 [④] 	
<p>7 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 先生のアドバイスで森林 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の学習の過程を自分で確認できるよう、どの 	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返りを端末に入力させ、学 	<ul style="list-style-type: none"> ○端末に振り返りを入力する。あ

<p>が少なくなっていることを加えられた。</p>	<p>7分</p>	<p>ように取り組んだか、その結果はどうだったかを振り返らせ、記入させる。</p> <p>○次時の内容を伝え、次回はどのように臨みたいかを記入するよう声を掛ける。</p>	<p>級全体で共有する。 [③]</p> <p>○振り返りや学習成果などのデータを蓄積し、評価に生かす。また、児童の学習成果や振り返りを基に、次時の指導改善に役立つ。 [④]</p>	<p>るいはワークシートに記入したものを画像で提出する。 [④]</p> <p>○振り返りを端末に保存しておき次の学習に向かう材料にし、いつでも確認できるようにする。 [④]</p>
---------------------------	-----------	---	---	---

板書計画

<p>Today's goal</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>好きな動物の食物連鎖について、自分の考えや気持ちを入れて英語で話そう。</p> </div> <p>自分の考え→動物の様子 環境問題 絶滅危惧種 SDGs など</p>
--

本時の展開（8／8）

- (1) **ねらい** 地球上の生き物の生活環境について考えるために、好きな動物の暮らしについて、既習の表現などを用いて、自分の考えや気持ちを入れながら英語で話している。
- (2) **主な表現** Where do ~ live?, ~live in the ..., What do ~eat?, ~eat ...
- (3) **準備** 教科書、振り返りシート、1人1台端末
- (4) **展開**

学習活動 ・予想される児童の反応 めあて	時間	1人1台端末の活用法 研究上の手立て	
		指導者	児童
1 あいさつをする。 2 前時、本時の学習の確認をする。 ・前時に提出した動画を確認をしておこう。	5分	○指導上の留意点及び支援 ●(C)努力を要する児童への支援 ◇評価 ○前時の学習でできなかったことややりたかったことなどを解消できるように、前時の振り返りを確認させ、発表前の内容確認の時間を設ける。 ○スムーズに発表できるように、発表や評価の仕方を確認する。	○前時の振り返りと学習成果の評価、指導者のコメントを確認させ、発表内容の動画を見直しさせる。そして、発表時の目標をもたせる。[②]
3 アンケート機能で評価シートを作成する。 ・ペアを作って発表し、その都度評価し合えばよいんだ。 ・発表するときのポイントを確認できた。	5分	○互いに端末を通して即時的に相互評価できるアンケート機能を活用する。 ○評価シートを学級全体で共有できるように作成後提出させる。	○前時の振り返り、指導者からの評価とコメントを確認する。発表内容の動画を確認し、発表時の目標を立てる。[④]
4 本時のめあてをつかむ。			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[本時のめあて]</p> <p>地球上の生き物の暮らす環境について、自分の考えや気持ちを入れて英語で発表しよう。</p> </div>			
5 ペアを作って発表し、評価し合う。 発表方法 (1)ペアを作る。 (2)交互に発表する。 (3)端末のアンケート機能を活用して評価し合う。 ・〇〇さんはたくさん自分の考えや気持ちを入れていて分かりやすかった。	25分	●即時的な相互評価を行うことで、その評価を基に自分を振り返らせ、表現の質を高めさせる。 ○たくさん発表できるように積極的にペアを作るよう声掛けをする。	○端末を活用した相互評価の振り返りを基に、自分の発表内容を振り返らせ、よりよい表現になるように個に応じた指導を行い、表現の質を高めさせる。[②]
<p>◇地球上の生き物の生活環境について考えるために、好きな動物の暮らしについて、既習の表現などを用いて、自分の考えや気持ちを入れながら英語で話している。</p> <p style="text-align: center;">【思考・判断・表現】（観察、動画）</p> <p>◇地球上の生き物の生活環境について考えるために、好きな動物の暮らしについて、既習の表現などを用いて、自分の考えや気</p>			

<p>6 友達からの評価を基に最終学習成果を録画し、提出する。</p>		<p>持ちを入れながら英語で話そうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】(観察、動画)</p> <p>○時間に余裕があれば、よくできていた児童の発表を学級全体で共有し、感想を伝え合う。</p> <p>○ねらいを達成できるように相互評価を確認させ、最終学習成果を提出させる。</p>	<p>○最終発表の動画と相互評価シートを蓄積し、評価に生かす。 [④]</p>	<p>○相互評価後の表現の質が高まった状態の最終学習成果を友達に録画してもらい提出する。[④]</p>
<p>7 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・端末で発音を確認したり友達に聞いてもらったりして充実していた。英語の勉強の仕方が分かってきた。 ・その場で友達や先生に評価してもらおうと、よいところや改善点分かるから、すぐ直すことができてよかった。 	<p>10分</p>	<p>○この単元を通して、学習に臨む姿勢など自分がどのように変わったか、何がきっかけで変わったのか振り返るように促す。</p>	<p>○振り返りを端末に入力させ、学級全体で共有する。 [③]</p> <p>○振り返りや最終学習成果などのデータを蓄積し、評価に生かす。また、児童の最終学習成果や振り返りを基に、単元を通した指導の振り返りを行い、次の単元での指導改善に役立てる。[④]</p>	<p>○端末に振り返りを入力する。あるいはワークシートに記入したものを画像で提出する。 [④]</p> <p>○単元を通して自分の活動を振り返り、自分の成長を確認するとともに、新たな課題を捉える。 [④]</p>

板書計画

<p>Today's goal</p>	<p>地球上の生き物の暮らす環境について、自分の考えや気持ちを入れて英語で発表しよう。</p>	<p>*評価ポイント</p>
<p>○ペアを作って、相互評価する。</p> <p>○友達からの評価を基に、よりよい表現にする。</p> <p>○授業の終わりに、一番よい発表動画を録画し、提出する。</p>	<p>①表現面 (Where, Whatを正しく使えているか)</p> <p>②内容面 (自分の考えや気持ちが入っているか)</p> <p>③態度面 (相手意識をもって発表しているか)</p>	

Class _____ Number _____ Name _____

Unit 5-1

Today's goal : 地球上の生き物がどこで暮らし、何を食べているのか等について、聞き取ろう。

★内容の聞き取りはどのレベルまで達成しましたか？ レベル ()
(レベル1~4までありました)

★なぜ、そのレベルまで達成できたのでしょうか？
理由にあてはまるものを全てに○をつけてください。

- ① 簡単だったから
- ② 以前、似ている内容のことを英語で言ったことがあったから
- ③ 知っている単語やジェスチャー、表情等から推測できたから
- ④ 先生や友達にヒントをもらったり教えてもらったりしたから
- ⑤ 何度も繰り返し聞いたから
- ⑥ その他 ()

★上のレベルを目指すにはどうしたらよいと思いますか。

具体的な対策を考えられましたか？
次回の授業のはじめに、今日達成したレベルの上のレベルの内容を聞いてみよう！

★次回は・・・
生き物がどこで暮らしているかを英語で伝え合います。

Class _____ Number _____ Name _____

Unit 5-2

Today's goal : 地球上の生き物がどこで暮らしているのか伝え合おう。

★Today's goal を達成することができましたか？
どこまで達成したか○をつけましょう。

【質問する側】

- ① 地球上の生き物がどこで暮らしているのか質問することができなかった
- ② 地球上の生き物がどこで暮らしているのか質問することができた

【答える側】

- ① どこで暮らしているのか答えが思い浮かばなかった
- ② どこで暮らしているのか答えは思い浮かんだけれど、英語が分からなかった
- ③ どこで暮らしているのか答えたけれど、英語を間違えてしまった
- ④ どこで暮らしているのか正確に答えることができた
- ⑤ その他 ()

★どのようなことに気を付けると、よりよく伝え合えるようになると思いますか？

- ① 端末の音源を何度も繰り返し聞く。
- ② 自分の苦手な単語や表現を何度も繰り返し言う。
- ③ 自分の言っているところを端末に録画して聞き、改善する。
- ④ 自分の言っているところを友達や先生に聞いてもらって、アドバイスしてもらう。
- ⑤ 分からないときは、友達や先生に質問する。
- ⑥ 聞いている人に伝わるように、表情、声、目線など工夫する。
- ⑦ その他 ()

★次回は、生き物が食べているものについて英語で伝え合います。

どのようなことを意識して学習しようと思いますか？前の項目で選んだことをもとにして、詳しく書いてください。

Class _____ Number _____ Name _____

Unit 5-3

Today's goal : 地球上の生き物が食べているものについて伝え合おう。

★Today's goal を達成することができましたか？
どこまで達成したか○をつけましょう。

【質問する側】

- ① 地球上の生き物が何を食べているのか質問することができなかった
- ② 地球上の生き物が何を食べているのか質問することができた

【答える側】

- ① 何を食べているのか答えが思い浮かばなかった
- ② 何を食べているのか答えは思い浮かんだけれど、英語が分からなかった
- ③ 何を食べているのか答えたけれど、英語を間違えてしまった
- ④ 何を食べているのか正確に答えることができた
- ⑤ その他 ()

★どのようなことに気を付けると、よりよく伝え合えるようになると思いますか？

- ① 端末の音源を何度も繰り返し聞く。
- ② 自分の苦手な単語や表現を何度も繰り返し言う。
- ③ 自分の言っているところを端末に録画して聞き、改善する。
- ④ 自分の言っているところを友達や先生に聞いてもらって、アドバイスしてもらう。
- ⑤ 分からないときは、友達や先生に質問する。
- ⑥ 聞いている人に伝わるように、表情、声、目線など工夫する。
- ⑦ その他 ()

★次回は、生き物の食物連鎖について英語で伝え合います。

どのようなことを意識して学習しようと思いますか？前の項目で選んだことをもとにして、詳しく書いてください。

Class _____ Number _____ Name _____

Unit 5-4

Today's goal : 地球上の生き物の食物連鎖について伝え合おう。

★Today's goal を達成できましたか？ ⇐⇒ 達成できた ・ 達成できなかった

その理由は何ですか？

★次回について、その1

今日の食物連鎖クイズの続きを2問やりますよ。友達に相談せず一人で言えるかな？一人で言えるようになるにはどうしたらよいでしょう。

★次回について、その2

各自好きな動物の食物連鎖について、ピラミッドチャートを使って発表内容を考えます。理科で学習した食物連鎖のことを思い出しながら考えよう。

Unit 5-5

Today's goal : 好きな動物の食物連鎖についてピラミッドチャートを使って発表内容を考えよう。

★Today's goal を達成できましたか。 できた ・ できなかった
その理由は何ですか？

Blank box for writing reasons.

★友達のパラミッドチャートを共有したあと、何をきっかけに、どのように変わりましたか。

Blank box for writing about sharing.

★次回は・・・
今日考えたピラミッドチャートを使って発表のための資料を作ったり、英文を考えたりします。どのような方法にしたいですか。思いついたことをたくさん書いてみよう。

Blank box for writing next time's plan.

Unit 5-6

Today's goal : 好きな動物の食物連鎖について、発表方法を考えよう。

★発表方法とは ()

発表方法を共有したあと、自分の発表方法は何をきっかけにどのように変わりましたか？

Blank box for writing about presentation methods.

★発表方法を考え、英文も考えました。発表の準備は整いましたか？何かやっておいた方がよいと思うことを書きましょう

Blank box for writing about preparation.

★次回は・・・
発表に向けて資料や英文を確かめたりします。担任の先生や隣のクラスの友達に聞かせたくなるオリジナルの内容になるとよいですね。

Unit 5-7

Today's goal : 好きな動物の食物連鎖について、自分の考えや気持ちを入れた表現を考えよう。

★Today's goal を達成することができましたか？
どこまで達成したか○をつけましょう。

- ① 自分の考えや気持ちが思い浮かばなかった
- ② 自分の考えや気持ちは思い浮かんだけれど英語が分からなかった
- ③ 自分の考えや気持ちは入れられたけれど間違いが多かった
- ④ 自分の考えや気持ちをに入れられ、英語も正しく言えた
- ⑤ その他 ()

★どのようなことに気を付けたら、よりよい発表内容や発表方法になると思いますか？

Blank box for writing about improvements.

★次回はいいよ発表です。今回もみんなで評価し合います。
どのようなことを目標にしたいですか。

Blank box for writing next time's goals.

Unit 5-8

Today's goal : 地球上の生き物の暮らす環境について、自分の考えや気持ちを入れて発表しよう。

★振り返りで考えた今日の目標は何ですか。端末にある振り返りシートを確認しよう。

★今日の発表は (100点満点中) 何点でしたか？その理由を書いてください。

Blank box for writing score and reasons. Includes a small box for '点' (points).

★おすすめの友達是谁ですか？その理由も教えてください。

Blank box for writing about friends. Includes a small box for 'さん' (san).

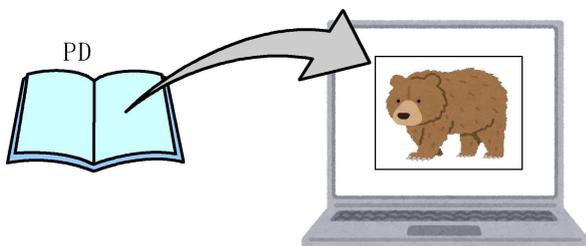
★今回はたくさんの友達と発表、評価をし合いました。みんなの前で発表するのと比べてどうでしたか。感じたことを教えてください。

Blank box for writing about the experience.

I 教材の作成の仕方(双方向授業支援ソフトを活用した場合のもの)

1. 単元で扱う単語

- ① Picture and Dictionary (以下PD) に掲載されている単元で扱う単語カードを双方向授業支援ソフトに保存する。



*デジタル教科書のデータの中にPDのカードデータがあるので、それを活用すると簡単にできる。

- ② 保存した単語カードに録音機能を使って音声を入れる。音声は ALTに協力を仰ぐ。
③ 音声付き単語カードを双方向授業支援ソフト内にまとめて保存し、授業で活用する。

2. 単元で扱う表現

- 1の単語と同様に作成し、保存しておく。 *英語表記よりも絵で表現した方がよりよい。

II 内容読み取り、食物連鎖クイズの教材

1. <第1時：内容の聞き取り>* でイラストを出す

*生き物の単語や表現は、本単元で扱うものを主とする

Practice

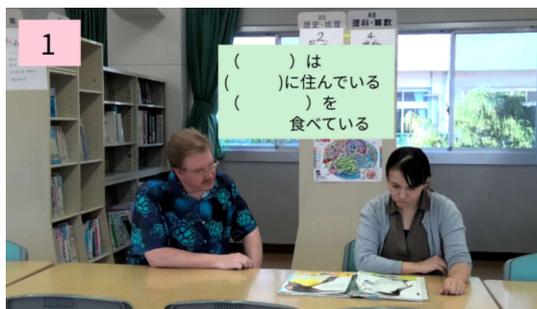


A : Where do bears live?
B : Where? Live? Bears?
A : Where do bears live?
B : OK!! Mountains! Mountains!!
Bears live in the mountains.

～解答～

「熊は山で暮らしています。
(熊は山に住んでいます。)」

Level・1 (Very easy ver.)



A : (動物の図鑑を持ちながら)
Let's play a quiz game!
Where do penguins live?
B : Where ... , ?
A : (Slowly)Where, do, penguins, live?
B : Penguins?..... Ah ha! Sea! Sea! In the sea!
Penguins live in the sea.
A : (Slowly)What, do, penguins, eat?
B : Eat?....
A : (「食べる」のジェスチャー)
B : Penguins eat fish.

Level・2 (Easy ver.)



A : (動物の図鑑を持ちながら)

Let's play a quiz game.

B : OK !

A : First question.

Where do sharks live?

Where do sharks live?

B : Uh...Sea! Sea!! in the sea. Sharks live in the sea.

A : Good job! Second question.

What do sharks eat? What do sharks eat?

B : OK, Fish! Fish!! Sharks eat fish.

A : Good job!

Level・3 (Normal ver.)



A : Hello! Let's play a quiz game.

B : Yeah !

A : Great. First question.

Where do frogs live? Where do frogs live?

B : I got it. Ponds. In ponds. Frogs live in pond.

A : Good job. Second question.

What do frogs eat? What do frogs eat?

B : Oh, I don't know.

A : Frogs eat spiders.

B : Spiders! Oh, I see.

Level・4 (Hard ver.)



A : Hello! Let's play a quiz game.

B : Yeah ! Sounds interesting.

A : Great. First question.

Where do eagles live? Where do eagles live?

B : I got it. Forest. In the forest.

Eagles live in the forest.

A : Good job. Second question.

What do eagles eat? What do eagles eat?

B : Oh, I don't know.

A : Eagles eat frogs and rabbits.

B : Oh, I see. Eagles eat frogs and rabbits.

Level・5 (Very hard ver.)



A : Hello! Let's play a quiz game.
 B : Yay! Sounds interesting.
 A : Great. First question. Where do monkeys live?
 B : I got it. Monkeys live in the mountains.
 A : Good job. Second question. What do monkeys eat?
 B : I got it. That's easy. Monkeys eat grasshoppers, spiders, and nuts in the mountains.
 A : That's right. But there are more.
 B : More? Oh, I don't know.
 A : Monkeys eat.....vegetables,fruits snacks and chocolates in our houses.
 B : Really? Why?
 A : No more food is in the mountains. Monkeys are hungry in the mountains. So monkeys come down to our houses. Monkeys eat vegetables,fruits, snacks, chocolates...
 B : Oh yes. Monkeys come down to our houses.
 A : (考え込む)
 B : (考え込む)

2. <第4時：食物連鎖クイズ>

- * 食物連鎖クイズで扱う生き物は、本単元で学習する生き物にする
- * 以下のようなカードを端末に納めておくことで、児童は個々に学習を進めることができる

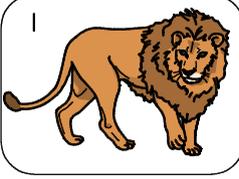
ペアで相談しながら「食べる・食べられる」の関係を英語で言う

○ 2種類の生き物の場合

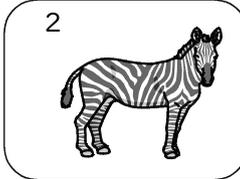
(3種類の生き物、4種類の生き物の場合も同様にクイズを準備していくとよい)

食物連鎖
 FoodChain Quiz!! 答え (→)

1



2



答えは (1 → 2)

Lions eat zebras.